

1次通過の業者公表

県審査 白浜空港民営化

県は24日、2019年度の導入を目指して募集していた南紀白浜空港(白浜町)の運営民営化事業について、1次審査の通過業者を公表した。通過したのは、経営コンサルティンクなどを手掛ける「経営共創基盤」(東京都)を代表とするグループと、全国にホテルを展開する「ホテルマネージメントインターナショナル(HMI)ホテルグループ」(東京都)を代表とするグループ。

経営共創基盤のグループは、同社の子会社で交通事業者の再建をする「みちのりホ

ールディングス」、白浜町の旅館「白浜館」で構成。HMI

Iのグループはバス会社の「中紀バス」(由良町)、田辺市や御坊市にも事務所がある設計会社「岡本設計」(和歌山市)、浄化槽の設計・施工などをする「エコ和歌山」(田辺市)、土地家屋調査士や司法書士業などの「マツシ

タオフィス」(田辺市)、白浜空港で小型航空機の整備管理などを行っている「サンエスト」(白浜町)でつくる。県は17日に外部有識者による1次審査を実施。応募があった3事業者から選んだ。5月中旬に2次審査し、優先交渉権者を決定する予定という。

白浜空港運営審査
1次通過に2事業者
県が発表
南紀白浜空港(白浜町)の民営化に向け、運営する事業者を選定中の県は24

日、1次審査を通過した2事業者の名前を公表した。いずれも共同事業体で、企業の経営改革支援などを行う「経営共創基盤」(東京)を代表とする「経営共創基盤・みちのりHD・白浜館コンソーシアム」と、ホテルを運営する「ホテルマネージメントインターナショナル」(同)が代表の「白浜HMI」。

県は当初、事業者名を明らかにしていなかったが、

仁坂知事が発表するよう指示した。2次審査を経て夏

頃には事業者を決め、来年4月の運営開始を目指す。

2企業グループ
1次審査を通過
南紀白浜空港の
運営事業者公募
【和歌山】和歌山県

は24日、県営の南紀白浜空港(和歌山県白浜町)の民営化に向けた運営事業者の公募で、1次審査を通過した2企業グループを公表した。経営共創基盤(東京都千代田区)を代表とする「経営共創基盤・みちのりHD・白浜館コンソーシアム」と、ホテルマネージメントインターナショナル(東京都中央区)や中紀バス(和歌山県田辺市)などで構成する「白浜HMI」。

空港運営に2グループ
南紀白浜、民営化1次審査
和歌山県は南紀白浜空港(和歌山県白浜町)の運営事業者候補としてコンサルティンクの経営共創基盤(東京・千代田)とホテル・旅館運営のホテルマネージメントインターナショナル(東京・中央)をそれぞれ代表とする2グループを選定した。県は同空港の2019年4月の民営化を目指しており、今回の第1次審査には3グループが応募した。今後、第2次審査を経て5月中旬に優先交渉権者を決める。

1次通過2者発表

白浜空港民営化審査で県

県が来年4月の導入を目指す南紀白浜空港(白浜町)の民営化案を通過した2つの企業体について、企業再生などを手がけるコンサ

ルティンク会社(経営共創基盤(東京)を中心とするグループ)と、同町にも系列ホテルを展開する「HMI」ホテルグループ(東京)を中心とするグループだ

ったと発表した。経営共創基盤は日本航空再生に関わった経営コンサルタントの富山和彦氏がCEOを務める。今回は同社の子会社と、同町の温泉旅館「白浜館」とでグループを組んだ。HMIは全国各地でホテルを展開するグループ。今回はバス事業

者の「中紀バス」(由良町)や空港内で小型機を運行管理する「サンエスト」など2グループを組んだ。

仁坂吉伸知事は「今より条件が悪くなるならやめるつもりだったが、今よりも良くなる。どちらかを選ぶ」と話した。

【稲生陽】